

# 遊文通信

# Vol.06



## PDF この便利で不便なモノたちよ

PDFはポータブル・ドキュメント・フォーマットの略でアドビの開発したパブリックな規格であり、その内容やフォーマットはすべて公開されています。

当初PDFは印刷出稿用に開発されましたが、データが軽くなる事が注目されWEB用にもはやされました。海外では早くから印刷用にも活用されましたが、日本ではその普及が大幅に遅れました。その一番の原因となったのがフォントベンダー（フォント会社）の各々の思惑でした。

PDFでの最大の特徴と言えるフォントエンベット（フォントの埋込）が日本語フォントで許可されていなかったからです。フォントを埋込むと出力装置側にフォントが存在しなくてもポストスクリプト（印刷業界で標準の出力用言語）での出力が可能になってしまうため、各フォントベンダーが制限をつけたのです。出力装置（RIP）に乗せておくフォントは高解像度用フォントを使わなくてはなりません。これが1書体25～30万円ほどしました。20書体使えるようにするだけで500万円程かかってしまいます。それがいらなくなってしまうのですからフォント会社としては大きな驚異となることは容易に想像がつきます。

それに対し欧文フォントは制限がありませんでした。PDFにフォントが埋込めたのです。日本でもPDF1.3という規格から日本語フォントも埋込めるようになっていましたが、肝心のフォントがついていなかったのです。当初WEB用に配信されたPDFもフォント埋込みがされていないものが多かったため、オリジナルフォントが無いパソコン環境で見ると体裁の保証はされなかったのです。しかし代替えフォントで表示してくれるため、内容は伝える事ができ、大変便利なものだったのです。

また、アドビ社がアクロバットリーダーというPDFを閲覧するソフトを無償で配信したことも普及に大きく影響したと言えます。専用ソフトを買わなくてもいいのですから、これは飛びつきたくありませんよね！



ホームページで左のような物を見た事がある方々は多数いると思います。

### PDFって安全なの？

さてここからが本番です。

昨今、印刷用としてPDFを入稿してくるお客様が急激に増えてきました。ところがこれがやっかいなんです。（泣）

PDFは作成ソフトが多数存在します。安いものは2～3千円程度で販売されています。さらにインターネットで無償でダウンロードできるものもあります。また、パソコンOSそのものに機能が組み込まれたものもあります。

**怪しげなフォントも埋込みされていないPDFがどんどん入稿されるのです。**

弊社の営業担当がお客様から言われた事です…「PDFは絶対安全に出力できるんやろ～」…、とんでもハッピーなお言葉です。条件の整わないPDFは怖いものは無いのです。

我々はポストスクリプトという言葉を紹介してPDFを作成するのですが、その手段でPDFを作成されるお客様は同じ業界の人たちぐらいです。一般のパソコンユーザーの場合GDIというパソコンの描画エンジンを使ってPDFを作っているケースが多いのです。家庭用プリンタにプリントするのと同じ様な形式です。GDIプリンタを使って作られたPDFは安全性という点ではかなり疑問が残るデータなのです。

我々が作るPDFは出力装置に出力するのと同じ手段でPDFを作っているのです。その差はすごく大きいのです。

また、PDFの特徴の一つとして、使用目的に合わせて性質の異なるPDFを作ることができるという点があります。フォントの埋め込みや画像の解像度、圧縮率、ICCプロファイルのタグ付け、PDFのバージョンなど、色々な要素をコントロールすることでまったく性格の違うPDFが作れます。そういった事はあまり知られていません。**PDF=なんでも同じ**、という認識の方が多いのです。このように、PDFはきわめて柔軟性に富んだフォーマットであり、だからこそ多様な目的に使えるわけですが、**設定や指定さえきちんとして作れば問題ないPDFになるかというところとは言い切れません**。目的にあった正しい設定でPDFを作ったのに出力でトラブルが起きたということもないことではないのです。

ですからPDFは私たちにとってとても**こわ～い**存在なのです。ただ、そうとばかり言うてはいられません。様々な手段を使って、出来るだけ安全に出力する努力をしています。その方法は…**言えませ～ん。企業秘密ですから～**なんて！

（まさゆき・ほんどう）

# 栄光の 架け橋

第6回

第6回は大阪大学出版会にお伺いしました。

「大学出版会の営業」というユニークな職種で奮闘されている土橋由明さんにお伺いしました。twitterでも @OsakaUp で精力的に呟いておられます。

## ——大阪大学出版会についてお聞きしたいのですが

1993年の設立以来、大阪大学を中心とした研究書、教科書、教養書などを刊行してまいりました。現在は年間約30点を刊行し、2006年からは「阪大リーブル」という教養書シリーズを立ち上げ、一般の方向けにも情報を発信しております。

## ——こちらは一般の書店でも販売されているのでしょうか

もちろん積極的に営業も行っておりますので、全国どの書店でもお買い求めいただけます。大阪ですとジュンク堂書店、紀伊國屋書店、大学生協など大型店舗を中心に、販促活動を行っております。

## ——遊文舎との仕事で印象に残っている書籍はありますか

やはり一昨年の「第44回造装幀コンクール」にて、「日本図書館協会賞」を受賞した『フランスの子ども絵本史』ですね。原本の写真撮影から組版デザイン、製本に至るまで、きめ細かにサポートしていただきました。最初からお互いに賞を目指していたので、その願いが実現したときは、手を取り合って喜び合いました。

## ——遊文舎の印象はいかがですか

何といってもレスポンスの速さとデザイン力、企画力が素晴らしいことです。ご担当いただい



土橋さん（左）と苗村部長（右）

いる苗村営業部長も豊かな経験と素晴らしいスキルを兼ね備え、こちらが意図することをすぐに読み解いてくださいます。そして、木原社長を先頭に、常に前を見据えて走り続けるお姿には、われわれも大変刺激を受けております。

また紙媒体の印刷だけではなく、ホームページなどのWeb関係にも強く、トータルでお任せできることは大変助かります。

## ——今後、遊文舎に期待することは

2010年は「電子書籍元年」と言われ、我われ出版業界だけではなく、印刷業界でも今後の対応に迫られていると思います。

その中で、この変化を「危機」として捉えるのではなく、「チャンス」として受け入れ、「紙」への想い、「電子」への期待をお互いに共有しながら、ともに歩んで行ければと考えております。

（聞き手：なえむら）



## だーくんの 趣味を語れよ!

Level.6

僕、『だーくん』の趣味はゲーム。というわけで、今までに夢中になったゲームの思い出なんかをなんとはなしに書いていこうと思います。

新年明けましておめでとうございます。  
今年もよろしくお願いします。  
2011年一発目のソフトはこれです。  
「トランスフォーマー コンボイの謎」

知る人ぞ知る、クソゲーですね。ちょっと頑張ればクリアできるというレベルじゃないです。全10面のステージを10時間くらいかかって8面まで行ったところで、心が折れました。それ以来やってません。スタート1.2秒で1機消滅したときは、子どもながらに目を疑いました。ある意味トラウマです。チャレンジされたい方は是非どうぞ。

エンディングを見れるのはいつの日やら。  
おそろく見れないと思いますが。。。



# 印刷こぼれ話

## Part.3

日常、営業を回って起るエピソード、勘違いなど面白い話を集めてみました

- 「デザイン制作代が高いんだよ、このキャッチコピーを短くしていいから安くしろよ」

【comment】10文字のキャッチコピーを6文字にしても費用は変わらないんです。お気持ちはわかりますが…

- 「折り加工が500もあるのはタイヘンだから今日200でいいから早くしてよ」

【comment】折り機は数千枚／時 通ります。500はタイヘンで200だと早く出来るって事はないんですよ。

- 「カラフルな色使いやなあ、8色くらいあるやろ〜」

【comment】前回カラー印刷の仕組みでお話しましたが、カラーはC、M、Y、Kの4色で表現されています。カラフルさが無くなっても色数が減る訳ではなく、印刷代金は変わらないんですよ。

- 「春らしい色で頼むわ〜」

【comment】出来れば色見本等を頂くよう明確なご指示をお願いしたいです。個人の主観によるものは誤解が生じやすく、間違いの元になりかねませんので。

- 「増刷お願いします」

【comment】いきなり15年前の書籍の増刷依頼。でも15年前ってパソコンもなく電算写植<sup>\*1</sup>の時代、今はDTP<sup>\*2</sup>全盛期。版下や製版フィルムは残って



いませんでした。結局、全部作り直しました。データの保存も通常5年で処分しますので、ご注意くださいね。

- 「データ送るから手配しといて〜」

【comment】パソコンが苦手なお客さんがおられました。決心してパソコンを導入されたとのこと。「今からデータを送るから」と言われて待っているとFAXからパソコンで入力された原稿が送られてきました。どうして?!

- 「その辺りに置いておいて」

【comment】お得意先に納品に行った時のことでした。段ボールを抱えた瞬間、腰が「ギクッ」と! 「うっ、動けない」そこから先は… 「もう若くなかった」と痛感したファミコン世代でした。

※1 コンピューターを利用した写植組版、およびシステム。テキストデータと文字組みの指定をディスプレイで確認して入力し、自動写植機で印字する。DTPが普及した昨今ほぼ絶滅状態。

※2 デスクトップ・パブリッシング (DeskTop Publishing) あるいはデスクトップ・プリプレス (DeskTop Prepress)。書籍や雑誌などの出版物を、パソコンを使って制作すること。原稿作成からページのレイアウトなど、印刷の前段階までの一連の行程をパソコンで行う。

## 今月の一押し本

東野 圭吾『悪意』 講談社 ¥840

大阪出身の超メジャー作家、東野圭吾さん。『新参者』がドラマ化され、刑事加賀恭一郎が一躍有名になりましたが、他にも良著は多数あります。

加賀恭一郎シリーズは一通り読破したキパノスケ、その中でも個人的に最も面白かった作品を推奨させていただきます。

『悪意』人気作家・日高邦彦が仕事場で殺された。第一発見者は、妻の理恵と被害者の幼なじみである野々口修。犯行現場に赴いた刑事・加賀恭一郎の推理、逮捕された犯人が決して語らない動機とは。人はなぜ、人を殺すのか。超

みなさんこんにちは！新旧問わず、私キパノスケのまったくの主観に基づき、お勧め本をどんどん紹介させていただきます。ご感想などお聞かせいただければ幸いです。

一流のフー＆ホワイダニットによってミステリの本質を深く掘り下げた東野文学の最高峰。

悪意というよりは、動機にしたほうがよかったのではないかなと思うほど、クライマックスのどんでん返し、「人はなぜ人を殺すのか」の意味が意味深い作品でした。動機は要は「口封じ」ではありますが、絶対に人に知られてはならないおぞましい過去を知る他人がいた時、人は果たしてどう行動するのか？

一応長編のジャンルですが、大変読みやすいので是非ご一読くださいませ。  
(キパノスケ)



真っ盛りの  
スタッフシリーズ

# おのちゃんがいク!!

vol.6

伝説の営業マン おのちゃん(第1話の3)

おなじみの「おのちゃん」、伝説を生み出した彼を小説風に紹介します。  
(この小説はフィクションです)

「あ、紹介しますわ、今度うちに入った営業ですねん、小野ゆうんですわ」  
坂辺は小野を紹介した。  
「小野と申します」  
新人といっても営業経験豊富な小野は落ち着きを払ってスムーズに名刺を差し出した。  
高本は「あ、そうなんですか…え〜と名刺、名刺」  
受付デスクの引き出しから名刺を取り出し、小野の名刺と引き替えに差し出した。  
「高本と申します。宜しくお願いします」  
「こちらこそ、宜しくお願い致します」  
小野は丁寧に高本の名刺を受け取った。

受付横の自動ドアが開き坂辺が目を向けると虎吠がスーツ姿の若い男と話しながら入ってきた。  
虎吠と目が合ったので坂辺はいつもの調子で声をかけた。  
「毎度、こんにちは」  
「あ、坂辺さん、…どうもどうも」  
虎吠はそれだけ言うと直ぐさま隣の若い男にまた小声で話しを始めた。  
「ではまた、金曜日にお伺いします」  
スーツ姿の若い男はそう言って虎吠に一礼しその場を去った。  
仕切り直すように虎吠は声を上げた。  
「今日はどないしましたん、また新しい営業さん連れて、坂辺さん辞

めはりますんか」  
「なんですかのん、勝手に辞めさせんといってくださいよ」  
「またなんか他に儲かる商売でも始めはるんかな思て」  
「違いますわ、よう言いはりますわ」  
いつもの調子で談笑しながら、坂辺は小野を紹介した。

「それでは小野さん、宜しくお願いしますね」  
名刺交換を済ませた虎吠は小野にそう言って軽く頭を下げた。小野も丁寧にそれにこたえた。

「坂辺さん、今ちょっと時間ある？」  
虎吠は少し曇った表情で坂辺に訪ねた。  
「ええ、大丈夫ですよ」  
小野の紹介が目的の訪問であり、いきなりで少し戸惑ったが新人を打ち合わせに立ち会わせることは有意義なことなので坂辺は快諾した。  
(つづく)

タイガース  
楽しみだなあ



次回  
予告

真っ盛りの  
スタッフシリーズ

次回「おのちゃんがいクVOL7」は「伝説の営業マンおのちゃん 第1話の4」(予定) ※内容はやむを得ず変更になる場合がございます。ご了承ください。

遊文舎がお届けする超特急印刷サービス



お問い合わせ・ご相談はこちら

いん さ つ す ぐ よ

電話



0120-132394

E-mail

sugusu-ru@yubun.co.jp

受付時間

平日9:00~18:00(土・日・祝日、年末年始を除く)

すぐスール

検索

<http://www.yubun.co.jp/>

配布用のチラシとは別に告知用のポスターも欲しい!!

## ポスター+キャンペーン

A4チラシ 300 枚以上でポスター5枚無料!

(A2サイズ片面印刷)

- \*モノクロのチラシのご注文の場合はポスターのカラー印刷はできません。
- \*ポスターはA2サイズ(594x420mm)で専用紙のみになります(用紙の選択はできません)
- \*チラシのデータをそのままポスターに拡大しますので、画像等が粗くなる場合がございます。
- \*ポスター用に別にデータを作成されてもお届け致します。



### 編 集 後 記

第6号もなんとか発行出来ました。トップはPDFのお話でしたが、ご理解頂けましたでしょうか? ご不明の時は、担当者におっしゃってください。きっとお答え出来ないかも…?! って、そんな僕がPDFです。P(パツとしない)、D(どうかしてる)、F(ふざけた野郎)ですね〜

(Dandy)

次回、  
News Letter  
Vol.7を  
おたのしみに!

